

平成28年度 第3学年1組 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ☆自分の意見に自信をもち、ワークシートに記入したり発表したりする力をつけていきたい。(話す聞く・読む) ・伝えたいことを決め資料を使って工夫して書ける力をつけていきたい。(書く) 【工夫】 ☆ICTを活用し、要支援児童を含む全員が教師と一緒に学習ができるように支援をしてきた。 ・学校図書館を利用し、テーマごとにグループで様々な資料を読み書けるよう支援を行った。	☆相互の学び合いと手立て ・話し合いのときには、意見交換できる場を設定し、自分の考えを深めることができるようにする。 ☆教材の開発と工夫 ・学校図書館や地域施設を活用し、必要な資料を探し、まとめられるようにする。
社会	【課題】 ☆地図の読み取り方が分かり、資料を活用できる力をつけていきたい。 【工夫】 ☆ICT機器を活用し、地図や教科書を拡大して示した。同じものを見せ、指で追わせることで見る場所を限定し、思考に生かせるよう支援を行った。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・資料(表・グラフ・絵・図・地図等)を多く活用する授業を展開し、読み取りや気付きの力を高める。 ☆相互の学び合いと手立て ・資料から読み取ったことや気付いたことを話し合う活動を通して、資料活用の視点や活用方法を身に付けさせる。
算数	【課題】 ☆問題の内容が分かり、正しく立式していく力をつけたい。 ・既習内容の計算ができるようにしたい。 【工夫】 ☆「わかっていること」と「聞かれていること」を分けたり、式の持つ意味を考えさせたりすることで立式できるよう支援を行ってきた。 ・ドリル学習のときは、教室内を2つに分け習熟度別学習を行い理解の定着を図った。	☆相互の学び合いと手立て ・自力解決が難しい児童には、具体物や絵などの手立てを用意する。また、友達の考えを書き写すなどして説明の仕方を学べるようにする。 ☆補助資料の活用 ・ステップ学習を通して、既習の計算が正しくできるようにする。
理科	【課題】 ☆実験器具の正しい使い方を習熟させたい。 ・実験の必然性を感じ、問題を解決する方法を考える力をつけていきたい。 【工夫】 ☆一人一人が観察・実験に取り組めるよう教材を人数分用意した。 ・実験の型を示し、どのような実験をすればよいか全体で意見を交流し、まとめた。	☆教材の開発と工夫 ・虫眼鏡や平面鏡等の実験器具の扱い方に十分注意させ、使用法を映像や教科書などで確認する。 ・考察やまとめを意識させながら観察・実験を行わせるために既習事項を想起させる活動や、予想・仮説の判断材料となりうる共通体験を取り入れる。
体育	【課題】 ☆運動量を確保し、身に付けさせたい能力を向上させたい。 【工夫】 ☆ワークシートを活用し、自己やグループのよかった点を記入したり、発表させたりすることで身に付けさせたい能力が向上したことに気付かせたい。また、即時評価を行い、技能の習得(真似)がしやすい環境づくりを行った。	☆補助資料の活用 ・めあてを記入するための学習カードを用意し、実態に応じたスモールステップの指導を繰り返し多く行うことで、運動量を確保する。 ☆相互の学び合いと手立て ・ペアやグループ学習を計画的に行い、学び合いの場を設ける。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		